

高体連ハンドボール競技に参加する選手の保護者の皆様へ

競技観戦時のマナーについて

平素より、本専門部の活動につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、8月10日（金）羽生第一高校（高校一年生技術研修大会会場）におきまして会場校の教職員の車が、学校内通路に駐車中に当て逃げされるという残念な事故がありました。相手は特定されていませんが、駐車していた場所や時間帯から、大会の応援に来ていた保護者の方の車が接触した可能性も考えられます。

かねてより、大会会場には車でのご来場は遠慮していただくよう、再三お願いしてありますが、今でも、多くの保護者の方が車で来場されております。中には、正門付近で案内にあたっていた会場校生徒に「なぜ、中に入れないのか」「どこに停めればいいのか」など、問いつめるような保護者もいらっしゃるとのことです。有料駐車場に駐車の上、徒歩で来場された保護者の方もいらっしゃる中、あたかも校内に駐車するのが当然のような振る舞いをされる保護者がいらっしゃるのも現実です。さらに校内ではヒールの高い靴でグラウンド内を闊歩される保護者も多く、グラウンド状態の悪化に危惧する場面もありました。その他、立入禁止をお願いしていた校舎内に入る保護者の方もいらっしゃるなど、大会期間中は大会運営以外の部分、しかも選手に関わる部分以外に気を配らざるを得ない場面もありました。

大会を運営するにはいくつかの条件があります。それらをクリアできる会場は県内には多くありません。このままの状況が続けば、会場校として名乗りを上げる学校が無くなってしまえばかりか、利用状況が芳しくないとして使用を制限してくる公共体育館もあり、大会の運営自体が危ぶまれます。

私たちは、ハンドボールという競技が好きで、多くの人達にハンドボールに関わってもらいたいと願っております。『ハンドボール連鎖』を通して、将来、社会の中で活躍してくれる人が一人でも多く育ってほしい、そう願うばかりです。そのためには保護者の皆さんの協力は不可欠であり、ともに協力して初めて成就するものと考えております。

私たちも努力を惜しみません。『埼玉のハンドボールはプレーしている選手もいいが指導者もいい、そして、何より保護者が素晴らしい。』そう言われるような組織にしようではありませんか。

皆さんの大切なお子様のため、ハンドボール競技発展のため、今こそ、マナーを見直し、『だれからも愛され、信頼される埼玉のハンドボール』をめざし、是非、マナーアップ推進にご協力ください。

よろしく願いいたします。

平成24年 9月24日

埼玉県高体連ハンドボール専門部
部長 飯野弘司
委員長 井川修